2022 年度 社会福祉法人犬山福祉会 事業報告

- 1. 今年度の取り組み
 - ・昨年度に引き続き新型コロナ感染症への対応を検討・実施した。
 - ・世代交代・新規事業の検討をすすめた
 - ・経営上の諸課題について整理し検討した

2. 会議等の開催状況

評議員会

日時	主な議題
6/18	2021 年度事業報告、決算、監査報告
3/18	2023年度事業計画・予算、2022年度補正予算

理事会

日時	主な議題
5/30	2021年度事業報告、決算、監査報告、定款変更
12/15	2023 年度人事について 2022 年度補正予算
3/10	2023 年事業計画・予算、2022 年度補正予算、役員人事、新型コロナ対策

法人運営会議

	· // -
日時	主な議題
4/8	現況報告、コロナ対応、年間計画、決算、人事
5/13	現況報告、コロナ対応、役員人事、職員の対応
6/10	現況報告、コロナ対応、課題の整理
7/1	現況報告、コロナ対応、監査、課題の整理
8/8	現況報告、人事
9/9	現況報告、人事、コロナ対応
10/14	現況報告、人事、コロナ対応
11/6	現況報告、人事
12/9	現況報告、人事
1/13	現況報告、次年度体制
2/10	現況報告、次年度計画、職員配置
3/10	現況報告、コロナ対策、次年度計画

法人安全衛生委員会 · 不審者対応訓練

日時	主な議題
6/27	会議日程、BCP確認
10/20	BCP,不審者対応訓練
12/19	不審者対応訓練打合せ
1/16	不審者対応訓練打合せ
2/19	不審者対応訓練 ふりかえり

- 3 施設合同職員研修 ※今年度も新型コロナ感染症対策のため実施しなかった
- 3. 寄付 (敬称略)
 - 一寸奉仕の会(清掃活動、畑や園庭の整備、作物)、金澤由紀、谷口宏一

2022年度 「犬山さくら保育園」事業報告

1. 保育

〈保育〉

- ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、子どもたちが自分のやりたいあそびを思う 存分楽しめる保育づくりのために、散歩や、水遊びなども工夫をしながら取り組んできた。
- ・春と秋には、散歩コースの下見を行い、安全点検をした上で散歩の取り組みをした。
- ・年間通して写真を使った壁新聞を作成するなど、保護者に保育が見えるようにしてきた。
- ・「父母と共に」の保育づくりではクラス懇談会の充実を図った。全クラスで、日常保育のスライドショーを交えながら子どもの発達の学習と交流を父母とともに行った。その他、人形作りや、お散歩懇談会なども好評だった。
- •1.2 歳児混合クラス3年目。クラスの適正人数を考えると、たけのこクラスの人数が多くなってしまうところで、保育環境や保育づくりに工夫が求められる。短時間パート保育士の加配などで、少人数のグループに分けての保育ができるようにした。

〈食育〉

- ・給食部会での学びを活かしながら、子どもたちに安心安全でおいしい食事作りをすることができた。
- ・畑の野菜に触れたり、秋からは、毎日の献立で使う材料の展示をする「野菜かご」の取り組みにより、食べることが子どもたちにとってより身近になった。
- ・0・1 歳では子どもたちの目の前で食材をきったり混ぜたりするところを見せたり、2 歳児クラスでは、 実際に子どもたちがクッキングに参加したり、食べることがより楽しくなる取り組みをしてきた。
- ・「食事は楽しく食べる」ことを大事にする子どもとのかかわり方をクラス懇談会で保護者に伝え、職員会議で職員みんなの共通認識にすることができている。

2. 運営

〈一時保育・なかよし広場・赤ちゃん広場〉

- ・一時保育では、新型コロナウイルス感染症対策として、密集・密接を防ぐため、利用人数を 1 日 4 人にして実施した。年間で 648 人の利用があった。
- ・5~7月・11月~3月で、ひろばを再開することができた。前半期は主任が、後半期はさくらんぼからの職員異動で対応した。コロナ対策で、事前予約制で実施し、一時保育利用家庭や、入園予定家庭を中心に、毎回2~3組の利用があった。ひろばへの期待の声も多い一方で、継続していくための、職員配置など課題は大きい。

〈研修〉

- ・月1回職員会議内での園内学習では雑誌「ちいさいなかま」を使い、保育内容と、保育情勢の学習を位置づけてきた。
- 年間通して、子どもたちの身体づくりをテーマに学習、実践の積み重ねをしてきた。

「やさしく学ぶ子どもの発達」「やさしく学ぶ子どもの発達パート 2」「リズム遊びと子どもの発達」を読み、グループ討論で、実際の保育の場面をひきよせて考え、話し合いの中で深めてきた。

- ・園内での保育実践の報告と検討(保育のまとめ会)を行った。
- ・パート職員さんとの保育の共通認識を作っていくために、毎月の園だよりで子どものたちのそだちを伝え、月1回のパート職員会議で情報共有をした。
- ・あいち保育研究所のキャリアアップ研修に参加している。2022 年度は乳児保育で4名、食育1名 子育て支援で2名、マネジメント2名が受講した。
- ・研修参加後は職員会議内で報告をして、学んだことは職員で共有することを丁寧に取り組んだ。

3. 安全衛生

- ・BCP の作成、防災、防犯マニュアルを見直しに取り組んだ
- ・不審者対応訓練を3施設合同で実施した。
- ・緊急時に適切な行動ができるよう、避難訓練、消火訓練を毎月1回実施した
- ・子どものけがなどが起こった時にはすぐに、ヒヤリハット・事故報告書の検討を職員みんなで行い、 改善をすすめてきた
- ・新型コロナウイルス感染症の流行により、4月に3日、8月に2日の休園があった。

4. 設備・備品整備

- ・施設機能強化費の活用で、避難車の購入をした
- ・テラスの塗り替え工事をした。

5. 職員体制

・年度途中の退職者が出たため、補充をしつつ、職員のクラス移動で対応した。

令和 4 年度 現況報告書

社会福祉法人名 犬 山 福 祉 会

犬山さくら保育園 施設名 (定員) 60 名

1.事業の実施状況

(1)入所児童数の状況

区分	}		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	月平均
入	(0歳児	, =	6	6	6	8	11	15	16	16	17	16	16	16	149	12.4
所		1歳児	, <u> </u>	24	25	25	25	25	23	23	23	23	23	23	23	285	23.8
児童		2歳児	ļ,	19	19	19	19	20	20	20	20	19	18	18	18	229	19.1
主	小		拮	49	50	50	52	56	58	59	59	59	57	57	57	663	55.3
私	3 怠	表未清	睍													0	
的契	3	歳	児														
約	4	歳	児														
児	小		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合	計		49	50	50	52	56	58	59	59	59	57	57	57	663	55.3

※前年度との比較

3年間の比較

3十回	3 年间の比較									
	月平均園児数	4/1現在		年 度 途 中 入 園 数			退	園児	数	
	万个均图光数	園児数	産休明け	育休明け	1歳以上	転園	退園	育休	転居	
2 年度	53	47	0 /15	11 /15	4 /15	0	1	2	2	
3 年度	55	48	1 /14	10 /14	3 /14	1	1	2	0	
4 年度	55	49	4 /13	7 /13	2 /14	1	6	3	3	

8月までに定員いっぱいの入園が決まり、11月の途中で60人になった。その後、転園や転居での退園があり、年度末までの途中入園はなかっ た。 3年度に続き、早い段階で、定員いっぱいまでの入所が決まる傾向にある。

(2) 年間行事実施状況

避難訓練 ... 月1回 身体測定 0才 ... 1日 全員 ... 15日 ① 毎月の定例行事

誕生日会・・・0・1歳児は各クラスで実施 2歳児 毎月第4金曜日に開催

② その他の行事

年月日	行 事 名	実 施 状 況
4月23日	入園進級の会	オンライン さくら保育園の歴史 保護者から保育園紹介 クラス別交流会
6月11日	つくし・どんぐりクラス懇談会	対面:こどもの育ちのスライドを見てから交流
6月18日	たんぽぽクラス懇談会	対面:こどもの育ちのスライドを見てから交流・子どもは泥んこ遊び
6月25日	いちごクラス懇談会	対面:こどもの育ちのスライドを見てから離乳食について交流
6月29日	プール開き	梅ジュースで乾杯したあと、園長さんからプールでのお約束をみんなできいてプール遊び
7月2日	たけのこクラス懇談会	zoom: 人形作りと、悩み交流
7月7日	七夕会	久しぶりに全園児が集まっての行事 織姫彦星のペープサートを見る
9月10日	親子げんき広場	対面:保育園の各部屋に遊びコーナーを作り、親子で遊ぶ 分散して遊べるようにした
10月25日	秋の遠足	お弁当の日
10月26日	防災訓練	地震〜火災 福祉活動センターへ避難 防災備蓄品の点検
10月29日	どんぐりお散歩懇談会	たんぽぽひろばまで親子で散歩
11月17日	鮭パーティ	子どもたちの目の前で鮭をさばいてもらう。さくらんぼの調理さんに来てもらって実施
	たけのこお散歩懇談会	親子で散歩 福祉活動センター
11月26日	つくし・たんぽぽお散歩懇談会	保育園裏の畑道散歩
12月23日	クリスマス会	保育園に来るサンタさんを探しに行き、園児みんなで交流
1月21日	2歳児鬼退治懇談会	鬼退治に備えて、ハチマキやマントを作りながら交流
1月23日	不審者対応訓練	3施設合同で、さくらに宅配便を装った不審者が来たという設定で対応訓練
2月3日	節分豆まき 鬼退治	2歳児が鬼退治をする
3月1日	ひな祭り会	みんなで集まってのひな祭り会 簡単な歌遊びは小さな子も楽しめた
3月4日	卒園式前2歳児懇談会	卒園式に向けて大事にしていることの共有 絵本交流会とリズム遊び
3月20日	お別れ遠足	モンキーセンターへ2歳児3クラス合同ででかけた
	4-11-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14	
年2回	内科検診・歯科検診	
その他	父母と職員の会	草引き大会・フットサル交流会・芋ほり交流会・さくらピカピカday(大掃除)・さくらっこ製本交 流会・パザー(さくら虹色祭り)

(3) 2022年度 職員研修実績

月日	研修名	内容	期間(日)	時間	人数	参加者名
4~5月	春の年齢別保育連続講座	0歳児保育	5	10	3	愛洲・中野・梅村

5月29日	あいち保育と子育でのつどい	保育、こんな時どうづる?どう考える?(清水玲子さん) 発達の中でのきらめき(白石正久さん) こども主体の排泄自立とは?(和田智代さん)	1	2	14	岡田・五島・濱田・愛洲・前田・白石・ 稲垣・中野・土屋・山本・佐伯・後藤・ 中明・播木
6月13日	新任職員健康学習会	保育現場での体の付き方・守り方	1	1.5	2	中野、森
6月16日	保育研究所ミニセミナー	こども家庭庁設置法案・こども基本法案の問題点と保育	1	2	1	岡田
6月29日	あい共連1歳児交流会	1歳児クラス担当保育士同士の交流会	1	2	1	佐伯
7月4日	あい共連新人研修	保育園で働くことを選んで 講演とグループ討論	1	3	2	中野·森
7月18日	愛知県保育士会新任研修	加藤繁美さん講演	1	2	1	中野
7月19日	あい共連2歳児交流会	1歳児クラス担当保育士同士の交流会	1	2	1	山本
7月22日	子育て支援講座	困難を抱える家庭や子どもたちへの寄り添い方と保育園の役割	1	2	4	濱田・白石・梅村・土屋
7月30日	0歳児実践検討会	ミニ実践検討2本 グループ討論	1	3	5	五島・愛洲・佐竹・梅村・中野
7~9月	あい共連中堅Ⅱ研修	社会福祉施設の役割・次世代の役割・社会福祉研究交流 集会の参加・まとめ交流会	4	16	1	五島
8月	全国保育団体合同研究集会	1か月のオンラインで好きなだけ講演を視聴			18	常勤職員・播木
9月3日	犬山市夏季保育士研修会	ウェルビーイングの園生活を求めて	1	2.5	1	白石
9月12日	経営懇夏季セミナー	すべてのこどもに豊かな環境を保障する制度を	1	5.5	1	岡田
11月11日	経営懇主任セミナー	職員みんなで保育を作る~そのための課題と工夫	1	6	1	五島
12月3日	1歳児実践検討会	実践検討 グループ討論	1	3	4	稲垣・土屋・伏屋・白石
12月6日	あい共連中堅研修	保育は福祉の視点を学ぶ	1	3	1	前田
12月17日	保育時間保育内容実践検討会	実践検討 グループ討論	1	3	1	濱田
1月9日・10日	経営懇研究セミナー	保育条件改善と民間保育園の課題	2	10	1	岡田
1月21日	異年齡保育実践検討会	実践検討 グループ討論	1	3	1	稲垣
4~10月	あい共連幹部職員研修	労務管理・マネジメント・保護者との共同・先輩との座談会・ まとめ	5	15	1	岡田
	キャリアアップ研修	乳児保育・子育て支援・マネジメント・食育		15	9	五島・佐竹・安達・愛洲・稲垣・白石・ 伏屋・井戸・梅村
通年	文献学習	「やさしく学ぶ子どもの発達」「やさしく学ぶ子どもの発達パート2」「リズム遊びと子どもの発達」			17	常勤職員全員
10月・2月	保育のまとめ会議	各クラスの実践検討	2	12	17	常勤職員全員

2. 施設整備等の状況

工事名	工期	総事業費	財源内容			
工 爭 右	工 捌	秘尹未 其	運営費収入	寄付金収入		
テラスに塗り替え工事	2022年6月	28,600	別紙決算書の通り			
室内外建具修繕	2022年8月	42,000	別紙決算書の通り			
寄付エアコン設置工事	2022年10月	87,450	別紙	決算書の通り		

3. 寄贈品等の状況

品 名	数量	金額	寄贈者	備考
エアコン4台			松浦孝英さん (卒園OB)	園児のため
寄付金		65,000	(株)D-rent	園児のため
寄付金		10,540	募金箱	施設整備のため
合計		75,540		

4. 苦情処理の状況

·第三者委員への相談 O件

2022 年度 赤ちゃんの家さくらんぼ 事業報告

1. 養育•支援

<保育>

- 新しいグループ構成のもと、各 G の生活を基本とし、コロナ禍であってもできるかぎりの取り組みをした。
- グループ単位での企画、会議や情報共有について検討した。

<看護>

- 新型コロナ感染症の影響は過去最大であった。入所児の入院・新型コロナの対応をおこなった。
- 5分間学習などを通じて健康管理・感染症対策につとめた。

<食育

ももの家での調理は、体制上可能な範囲で取りくんだ。

<相談>

- コロナの影響で、面会等の交流についての課題が明らかになった。
- コロナ禍であったが里親候補者の実習受け入れ、サロンの実施などには積極的に取り組んだ。

<事務>

- 事務処理上の課題を整理し、適切に行えるよう改善した
- 施設の修繕や管理にすみやかに対応した。

2. 運営

<入退所の状況>

● ひきつづき一時保護の割合が非常に高い状況が続いているなかで、コロナ等による入所 児の状況・職員体制の難しさにより、入所を制限せざるを得ない状況が続いた。

<研修>

- 新たな研修企画を進めた。(メンタルケア、ハラスメント防止等)
- 外部団体主催のオンライン研修については可能な限り受講した

3. 安全衛生

● BCPの作成に引き続き取り組んだ。

4. 設備・備品整備

- センターハウス「ラポール」の器具什器を充実させ、生活環境を整えた。
- 点字ブロック、電解水生成装置、冷凍庫等を更新した。
- ももの家の外壁塗装の塗りなおし、北側テラス屋根を設置した。

5. 職員体制

- 新規事業の検討プロジェクトをたちあげ、検討をすすめた。途中で見直しが必要な状況となり、継続課題となった。
- はじめて入所者にコロナ陽性者がでたこと等の影響で、非常に体制整備が難しい状況に あったが、職員の協力により乗り越えることができた。

2022年度 現況報告 赤ちゃんの家さくらんぼ

1. 入所児童の状況

1-1. 措置、私的契約、および一時保護委託児童数

平均在籍者数:14.7人

		-		
 	/\		在籍延べ日数	
区	分	措置児童等	一時保護委託 児	計
	4 🖽	日	日	日
	4月	295	115	410
令	5月	279	147	426
和	6月	270	158	428
4	7月	299	121	420
年	8月	310	159	469
度	9月	300	150	450
	10月	295	100	395
	11月	360	95	455
	12月	372	122	494
	1月	372	99	471
	2月	336	111	447
	3月	367	150	517
計		3,855	1,527	5,382

過去の入所者延べ人数の推移

	27年	28年	29年	30年	R1年度	R2年度	R3 年度
	度	度	度	度			
措置	6051	5668	5829	5418	4507	4532	4374
一時保護	640	816	801	668	1518	1675	1660
合計	6691	6484	6630	6086	6025	6207	6034

1-2. 短期支援事業等の実施状況

江南市	4 日間	1名
一宮市	2 日間×8回、3 日間×2回 7 日間 7 日間 3 日間	1名 1名 1名 1名

1-3. 入所退所状况

入所者数	
措置	6名
一時保護	38 名
ショートステイ	名
合計	44 名

措置児 退所先	合計
親元引取	2名
里親・ファミリーホーム委託	0名
児童養護施設	3名
その他	名
合 計	5名
一時保護 退所先	合計
親元引取	31名
さくらんぼの措置に切替	2名
里親委託	名
他の乳児院	1名
児童養護施設	名
その他	2名
合 計	36 名

2. 会議 研修

2-1. 定例会議(月1回)

ゆず/りんご/みかん/ぶどう/いちご会議 子どもの様子、養育目標、行事の企画

グループ打ち合わせ各グループ間の調整調理会議食育部門の打ち合わせ

食育会議献立、食数、離乳食の進め方、食育の取り組み

看護会議 子どもの健康状態、通院、衛生管理

防災防犯会議 避難訓練・完全管理に関する事項の協議

研修会議 ヒヤリハット、研修等について協議

体制会議 職員の状況について協議 職員会議 全体の予定・申し送り事項 経理会議 措置費制度、会計事務について

支援会議 ケース会議 ラポールプロジェクト 新規事業の検討

2-2. 研修

<院内研修>

4/27	第三者評価の結果について(栗原)
5月	中止
6/28	児童虐待の対応 (杉本一正 一宮児相長)
7月	中止
8月	中止
9月	中止
10 月	半期のまとめ・総括
11 月	中止
12/28	乳児院におけるライフストーリーワーク(佐々木大樹 心理士)
1/24	大人の発達障害への理解(太田克彦 産業医)
2/28	ハラスメント防止研修(斎藤宏行 社労士)
3 月	1年間のまとめ・総括 <正規/パート>

職員会議時に、5分間学習(養育・支援・食育・看護・防災)

<外部研修>

社会福祉経営全国会議 ブロック交流会 (Zoom)
全国養護問題研究会大会(Zoom)
里親研究大会
予期しない妊娠への相談対応研修
県乳協保育士部会 (Zoom)
中部ブロック児童養護施設・乳児院協議会(Zoom)
県乳協看護師部会(Zoom)
犬山市地域福祉シンポジウム
東海北陸B乳児院協議会総務主任者会
県乳協保育士部会(Zoom)
保育研究所研究集会(Zoom)
県施設長会制度政策学習会
日本精神衛生学会研修(Zoom)
県乳協保育士部会(Zoom)

3. 寄付の状況 (敬称略)

3-1. 寄付物品

東海アイスクリーム協会(アイスクリーム)、ポッカサッポロフード(キレートレモン)、鈴 置康輝(ぶどう)、コストコ・ホールセールジャパン(マスキングテープ、バッテリー)、コカ・コーラボトラーズジャパン(飲料)、ベビーフード協会(ベビーフード)、王将フードサービス(お子様弁当)、中部善意銀行(扇風機、掃除機)、大橋米穀(お菓子)、明治乳業(液体ミルク、粉ミルク)、篠原欣子記念財団(お菓子)

3-2. 寄付金

佐伯誠、早瀬徹、犬山市職員労働組合、犬山市社会福祉協議会犬山北支部、眞喜智也、愛知 県宅地建物取引業協会北尾張支部、有馬ひろ子

4. 施設整備等の状況

古口	吐扣	△ % 百	資金		
項目	時期	金額	自己	補助金	
おむつ交換台	4月	262, 900	262, 900		
点字ブロック	5月	425, 932	425, 932		
砂利等舗装		224, 068	224, 068		
北側テラス屋根設置		730, 000	730, 000		
家具・ゲート		204, 600	204, 600		
電解水生成装置 (増設)		486, 200	486, 200		
哺乳瓶殺菌庫(増設)		219, 725	219, 725		
ももの家外壁塗装	6月	2, 300, 000	2, 300, 000		
冷蔵庫 (増)		139, 485	139, 485		
ももの家オーニング修理	7月	190,000	190, 000		
ラポール 建具		188,000	188, 000		
ラポール カウンター		192, 074	192, 074		
ももの家 乾燥機		330,000	330, 000		
厨房水栓等修理	9月	173, 250	173, 250		
厨房冷凍庫		450, 000	450, 000		
防犯カメラ部品交換	12月	119, 350	119, 350		
冷凍冷蔵庫部品交換		119, 900	119, 900		
事務所扉交換	2月	234, 000	234, 000		
園庭 物置		192, 500	192, 500		
防犯カメラ増設	3月	717, 200	717, 200		
		7, 899, 184	7, 899, 184		

5. 苦情処理の状況

第三者委員への相談 0件

2022 年度 キルシェハイム 事業報告

1、養育・支援

母親への支援

- ・母子の入所面談時に、母子が入所に至った経過や母親の気持ちを聞き取り、入所アセスメントと自立支援計画を作成し、支援内容を母親と一緒に検討し、決めた。
- ・毎月1回、母子のモニタリング面談をする中で、生活や就労、親子関係についての困りご と等掘り下げながら、母親の気持ちを傾聴した。
- ・母子の生活の様子をケース記録としてまとめ、毎月措置事務所に送り伝えた。
- ・年2回(9月と2月)措置事務所と母親と施設職員の三者で福祉面談を行い、母子の自立 支援計画の進捗状況を確認し、目標と課題を明らかにした。
- 毎日就労継続している母親を応援するために月に1回のキルシェ弁当づくりを継続した。
- ・生活の中で母親が養育環境の改善を希望し、掃除や食事の支援を求めた時には、一緒に計画を立て取り組んだ。

子どもへの支援

- ・入所児の小学生は、放課後デイサービスを利用していたので、キルシェハイムの児童クラブ利用該当者がなく、キルシェハイム児童クラブの活動はなかった。
- ・小学生以上の児童は、児童の自立支援計画に対して毎月1回モニタリング面談を行い、児童の生活の中での意見や困りごとを傾聴した。

2、運営

<入退所の状況>

- ・2022 年度は4世帯の入所があったが、退所が6世帯あり、変動が多かった。危険な状況の中避難をして入所したが、母親の危険意識が弱く、母子の自立生活課題の達成よりも早く退所したい気持ちが強くなる傾向がある。退所後に地域の中で安定した生活を送れるようにするためには、見守りの環境を整えて支援していく必要がある。
- ・一時保護入所は10世帯の受け入れをし、そのうち3世帯がキルシェハイムに入所に繋がった。 ショートステイ入所は1世帯に受け入れをした。

<研修>

・オンライン研修や動画配信研修を含め、積極的に研修に参加し、専門性を高め、知識・技術の習得に努めた。

3、安全衛生

- ・コロナ感染対策(セキュリティ対策を兼ねて)職員室の相談コーナーをなくし入所者と職員の領域区分を明確にし、感染拡大予防に努めた。
- ・コロナ感染予防対策のため、毎月入所者へマスクを配布した。

4、設備·備品整備

- ・施設機能強化推進費補助金 10世帯分の避難用品購入
- · 荒川磯慈善会 AED 助成
- ・篠原欣子記念財団 防犯カメラ助成

5、職員体制

- ・2022年度4月1日 公認心理師 新規採用
- ・2022 年度 3 月 31 日 個別対応職員 退職(病気)
- · 2022 年度 3 月 31 日 施設長 定年退職

2022 年度 キルシェハイム 現況報告書

1.事業の実施状況

①施設利用者

ONE BATTATION TO THE TOTAL TOT							
区分	入所世帯・人員		児童数				
月別	世帯数	人員	乳幼児	小学生	中高生以上	計	
4月	5	13	3	2	3	13	
5月	4.	10	3	0	3	10	
6月	3	8	2	0	3	8	
7月	3	8	2	2	1	8	
8月	4	10	3	2	1	10	
9月	5	12	4	2	1	12	
10月	4	10	3	2	1	10	
1 1 月	3	8	3	2	0	8	
12月	4	11	5	2	0	11	
1月	4	11	5	2	0	11	
2月	3	8	3	2	0	5	
3月	3	8	3	2	0	5	

②措置委託先の状況

区	県 内				合計			
分	犬山市	名古屋	あま市	尾張福	知多市	半田市	稲沢市	
月別		市		祉				
4月	1	2	1			1	0	5
5月	1	2				1	0	4
6月	1	1				1	0	3
7月		1				1	1	3
8月		2				1	1	4
9月		2		1		1	1	5
10月		1		1		1	1	4
11月		1		1			1	3
12月		1		1	1		1	4
1月		1		1	1		1	4
2月				1	1		1	3
3月				1	1		1	3

③2022 年度入所件数と入所理由

夫 (パートナー) からの DV	3件
経済困窮	1件

④2022 年度退所件数と退所理由

地域へ自立	3件
親族の元へ	1件

子の措置変更	1件
私的契約へ入所変更	1件

⑤緊急一時保護

世帯構成	利用期間(日数)	理由	一時保護後
母と子1人	R4年8/1~8/15(15日間)	経済的困窮	キルシェへ入所
母と子2人	R4年9/5~9/21(17日間)	外国籍夫が失踪	民間アパート
母と子2人	R4年11/1~11/10(10日間)	夫からの DV	母子生活支援施設
			入所
母と子3人	R4年11/9~11/17(9日間)	夫からの DV	母子生活支援施設
			入所
母と子2人	R4年11/24~12/1(8日間)	夫からの DV	キルシェへ入所
母と子2人	R4年12/23~R5年1/31 (40	夫からの DV	民間アパート
	日間)		
母と子2名	R5年2/3~R5年2/13(11日	経済的困窮	母子生活支援施設
	間)		入所
母と子1人	R5年3/8~3/24(17日間)	夫からの DV	キルシェへ入所
母と子1人	R5 年 3/24~	経済的困窮	3/31 現在保護継続
			中
母と子1人	R5年3/30~	母の疾病	3/31 現在保護継続
			中

⑥ショートステイ

世帯構成	利用期間(日数)	理由
母のみ (大山市)	R4年6/7~6/8(1日間)	夫からの DV

⑦トワイライト

日にち(回数)	年齢	理由
0		

⑧補完保育・病児保育の実施

月	補完保育	病後児保育	延べ人数計
4月	5名		5名
5月	12名		12名
6月	10 名		10名
7月	12 名、1 名(仕事)		13名
8月	8名	2名(仕事)	10名
9月	5名		5名
10 月	2名、11名(仕事)		13名
11 月	3名		3名
12 月	24名		5名
1月		1名(仕事)	1名

3月	2名、2名(仕事)		2名
計	57 名	0名	149名

⑨実習生・介護等体験の受け入れ

学校名	人数	期間(日間)	内容
日本福祉大学	1	5/16~5/28(10 日間)	保育実習
日本福祉大学	2	5/30~6/10(10 日間)	保育実習
桜花学園大学	2	7/29~8/10(12 日間)	保育実習
名古屋経済大学	4	8/29~9/2(5 日間)	介護等体験実習
名古屋経済大学	4	10/17~10/21(5 日間)	介護等体験実習
名古屋経済大学	3	11/7~11/11(5 日間)	介護等体験実習
桜花学園大学	2	12/13~12/23(10 日間)	保育実習
桜花学園大学	2	3/21~3/31(10 日間)	保育実習

(2) 年間行事

行事

4月17日(日)	親子遠足	アクアトトぎふへ出掛け、親子で水族館館内や		
		屋外で自由に楽しく過ごした。		
7月29日(金)	親子木曽川鵜飼い	犬山市観光課から招待していただき、犬山市観		
		覧船「若あゆ丸」乗船し、わん丸君御膳を親子		
		全員で会食しながら、夜の鵜飼見学を楽しん		
		だ。		
12月23日(金)	親子クリスマス企画	親子でクイズを楽しみ、実習生サンタさんと一		
		緒からクリスマスプレゼントを届けてもらっ		
		た。		
3月24日(金)	児童進級お祝い会	児童卓球大会で交流し、進級に向けて楽しい気		
		持ちを盛り上げた。		
3月26日(日)	親子モンキーパークで遊ぼ	参加親子の全員に乗り放題つき入場券とお弁		
	う	当、お茶を配布し、自由に親子で遊び楽しんだ。		
キルシェ弁当(名	子家庭に元気を送るために弁当¢	の提供する)		
5月27日	炒めハンバーグ弁当			
6月22日	6月22日 ピーマンの肉詰め、トマトグラタン弁当			
8月26日	焼き鮭、ちくわに磯部揚げ、	きんぴら海苔弁当		
9月21日	キーマカレー弁当			
10月26日	ロコモコ弁当			
11月25日	天ぷらとほうれん草のお浸し弁当			
12月26日	カネスエで買ったクリスマス弁当			
1月25日	三色そぼろ弁当			
2月24日	ビーフカツ弁当			
キルシェ美容室				
7月26日(美容師さんの都合で中止)10月17日、12月6日、2月27日 計4回				

毎月:浄化槽清掃

(3) 施設会議の開催状況

職員会議

年月日	実施内容
4月6日	親子遠足、新年度運営、児童クラブと中学生について
4月18日	5月の予定とお知らせ、親子遠足の反省、入所者の状況、業務分担について
4月25日	オレンジファイル配布、入所者の状況、業務について
5月6日	4月業務の振返り、一時保護・入所備品等の確認、アフターフォローについて
5月20日	6月の予定とお知らせ、Y さん退所までの支援、実習生、研修について
5月31日	Yさん、Oさんのアフターフォロー、実習生、相談の対応について
6月7日	105、202 ケース検討
6月16日	208の状況と当面の支援、7月の予定とお知らせ、キルシェ弁当について
6月28日	208の状況と当面支援、生活のしおりについて
7月4-5日	Sさんケース検討、東区の入所打診、生活のしおりについて
7月19日	キルシェ美容室、鵜飼い参加の行事計画、9月の予定とお知らせについて
8月1日	104 一時保護の確認、生計表、居室点検、支援の手順について zoom 参加有
8月8日	104 一時保護入所打診について zoom 参加有
8月30日	生活のしおりの内容、入所者の状況について
9月6日	連絡事項、ケース検討について
9月15日	研修、入所マニュアルの内容、入所者の状況について
9月20日	10月のお知らせ、入所マニュアル、パンフレット等の確認、
10月4日	入所者の状況、支援について
10月12日	ハロウィーン企画、介護等体験実習生、入所者の状況について
10月18日	キルシェ美容室、入所者状況書類の取扱いについて
11月8日	105 に支援状況、入所者モニタリングと支援計画作成について
11月15日	12月の予定とお知らせ、今後の母子生活支援施設は、105の支援について
11月18日	緊急職員会議 105 の支援の対応について (さくらんぼ参加)
11月29日	105の状況と支援について、北区職員と支援者会議
12月13日	クリスマスプレゼントと企画、M 職員の業務について
12月20日	1月の予定とお知らせ、クリスマス企画、不審者侵入対応訓練について
12月27日	法人人事、一時保護逃走、106の状況、クリスマス企画の反省ついて
1月5日	モニタリングコメント、入所者の状況、行事について
1月12日	用務員業務、入所者受入の振り返りから今後の支援と役割分担について
1月16日	不審者侵入対応訓練計画、避難訓練の反省、入所者の状況について
1月23日	2月の予定とお知らせ、不審者侵入対応訓練の反省、親子お楽しみ会について
2月7日	モニタリングコメント、入所者の状況、親子お楽しみ会、進級お祝いについて
2月21日	3月のお知らせ、キルシェ弁当、キルシェ美容室、お楽しみ会について
3月1日	キルシェ弁当とキルシェ日の反省、106の支援の方向性について
3月16日	入所者の状況、行事と寄付の配布、進級お祝い会の内容について

(5) 職員研修実績

月日	研修名	内容	時間	人数
5/14~5/15	子どもと親のトラウマケ	子どものアセスメントとトラウマ	12.0	2

Zoom	ア研修会	複雑性トラウマの親子へのトラウマセラピー		
5月26日	連盟:第1回母子支援員会(三宝厚生館)	講演:シンプルだけどよく効くカウンセリングテクニック	5.5	1
5/27~6/12 動画視聴	名古屋市児童虐待防 止研修会	子どもの虐待防止の基礎知識 子どもの最善の利益とは	3.0	2
6月20日 Zoom	連盟 心理担当職員	自己紹介、顔合わせ、自由討論	1.5	1
6月24日	第1回少年指導員会 春日井母子の家	講演:様々な問題を抱える入所児童へ の理解/情報交換	6.0	1
7月1日	愛知県助産師会 全国妊娠 SOS ネットワ	予期しない妊娠への相談対応研修 現場で役立つ知識を学ぶin愛知 2022	6.0	1
7/13~ 動画視聴	全国母子生活支援施 設職員研修会	母子生活支援施設の機能を地域の子 育て世帯の支援に繋ぐために	6	1
9月2日	第2回母子支援員会	講演:DV 被害者の心理を踏まえた母子 支援/施設見学/情報交換	6.5	1
9月3日 Zoom	多文化ソーシャルワー ク研修会	外国にルーツを持つ子どもたちの支援 在留資格の基礎知識 実践報告	6.5	2
10月1日 Zoom	東海北陸ブロック母子 生活支援施設協議会	地域の子育て支援における母子生活支 援施設の役割を考える	3.0	1
10月13日 Zoom	知県社会福祉協議会 福祉人材センター	虐待対応における子どもの権利擁護	5.0	1
10月14日	連盟:第2回少年指導 員会	施設見学/情報交換 講演:母子生活支援施設とヤングケアラ ー	5.5	1
10 月 24 日 Zoom	愛知県社会福祉協議 会福祉人材センター	オンライン環境におけるコミュニケーション能力を育む	5.0	1
10月30日動画視聴	全国母子生活支援施設研究大会	母子生活支援施設のさらなる活用をめずして	5.5	1
11月4日	愛知県被害者支援連 絡協議会	犯罪被害者支援特別講演会 2022	3.0	1
11月10日動画視聴	愛知県児童虐待対策セミナー	コロナ禍で、生きづらさを抱える子ども・ 和子を支えること	4.0	1
11月19.20 目 Zoom	愛知県社会福祉士会	2022 年度社会福祉士実習指導者講習 会	14.0	1
11月26·27 目 Zoom	日本乳幼児精神保健 学会	全国学術集会名古屋大会 つながろまい、つながりん	13.5	1
2月17日	連盟:第3回母子支援員会	事例研究キルシェハイム 事後報告:愛のさと梅坪 令和5年度研修計画	5.0	2
3月9日	愛知女性相談センター	市町村女性問題相談員·窓口担当者実 務研修	2.5	1

6. 寄付の状況 (敬称略)

<寄付物品>

三菱地所レジデンス名古屋支社(災害備蓄食品・マスク)竹中工務店(ギフトカタログ商品)中部善意銀行(文房具・お菓子・タオル・日用品・非常食・水)名古屋市中島洋(米20K)犬山市母子寡婦会元会長/木本(洗剤・箱ティッシュ・お菓子・食品)西楽田団地/光田(収穫野菜)東海SUNKEY(クリスマスケーキ入所者分)愛知県共同募金会(クリスマスチョコレート)三重ライスとフードバンクあいち(お米)ロクシタン(コスメセット等)フードバンク愛知(米)地域の方々より(とれたて野菜)カットボランティア(3回)犬山市職員労働組合(ちひろカレンダー))コカ・コーラボトラーズジャパン(コーヒー・飲料)資生堂社会福祉財団(おかし10箱)はぐくみ寄付コミュニティー(衣類・雑貨・おもちゃ)コスメバンクプロジェクト(コスメセット等)犬山市名倉水保(菓子・食品)子どもサポートクラブ東海(食パン・お菓子・紙おむつ・米)犬山市社協(お菓子・レトルトカレー・パン)ハギホーム(ラック3台・折り畳みベッド)江南市母子寡婦会元会長後藤(食品・雑貨・日用品)犬山市勝綾子(フルーツサンド)

<寄付金> 犬山市職労

- 7. 施設整備の状況
 - ・防犯カメラ取り換え工事
- 8. 苦情処理の状況

第三者委員への相談 0件